

秩父 市議会だより

第 29 号

発行
秩父市議会
編集
市議会だより編集委員会
秩父市議会事務局
☎ (72)2122
FAX (77)1010
URL <http://www.city.chichibu.lg.jp>



「中村学童保育室」

「ただいま」と同時に「今日外で遊べる？」の一声
学童全員で「ケードロ」をやります。

みんな汗をかいて気持ちよさそうに走りまわります。

疲れもみせず、満面の笑顔で、、、 (^。^)/

今夜もきつとぐっすり、そして 明日も頑張ろう。

常任委員会

◎委員長 ○副委員長

委員会名	氏名
総務委員会	◎江田治雄 ○五野上茂次 逸見英昭 落合芳樹 出浦章恵 福井貴代 小櫃市郎
建設委員会	◎松澤一雄 ○富田俊和 上林富夫 金田安生 新井康一 浅海忠 上宮田勝雄
生活産業委員会	◎新井重一郎 ○斎藤捷栄 金崎昌之 竹内勝利 新井豪 荒船功
文教福祉委員会	◎笠原宏平 ○小池治 木村隆彦 高野宏 山中進 大久保進

議会運営委員会

◎委員長 ○副委員長

委員会名	氏名
議会運営委員会	◎新井豪 ○福井貴代 新井重一郎 五野上茂次 江田治雄 斎藤捷栄 新井浅海 忠 荒船功

附属機関等の委員の選出

附属機関等委員の一覧

※常任委員会委員長、副委員長兼務

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
議員氏名	金崎昌之	上林富夫	新井重一郎	木村隆彦	竹内勝利	富田俊和	高野宏	五野上茂次	小池治雄	松澤一雄	新井豪	金田安生	逸見英昭	笠原宏平	落合芳樹	江田治雄	斎藤捷栄	出浦章恵	新井康一	山中進	大久保進	福井貴代	小櫃市郎	浅海忠	宮田勝雄	荒船功
名称・人員																										
広域市町村圏組合議会	8		○				○						○		○	○		○				○		○		
監査委員	1																									○
公有財産審議会	8	○		○					○	○					○			○			○			○		
青少年問題協議会	1		○※																							
民生委員推薦会	2								○※					○※												
介護保険運営協議会	2			○																○						
国民健康保険運営協議会	4				○		○											○				○				
健康づくり推進協議会	1													○※												
都市計画審議会	6	○	○			○		○													○	○				
景観審議会	3		○※							○※				○※												
市立病院運営委員会	1													○※												
秩父4ダムに関わる連絡会	7	○			○				○					○							○	○			○	

6月 定例会

審議した議案等の結果

議案等の 番号	議案等の件名	議決結果	会派の態度					
			市民ク	彩政会	共産党	公明党	新風	無会派
第 43 号	専決処分について（平成23年度秩父市一般会計補正予算（第5回） 年度内に終了できなかった繰越事業の追加を行う補正	承認	○	○	○	○	○	○
第 44 号	専決処分について（秩父市税条例の一部を改正する条例） 地方税法の一部改正に伴う所要の改正	承認	○	○	×	○	○	○
第 45 号	専決処分について（秩父市都市計画税条例の一部を改正する条例） 地方税法の一部改正に伴う所要の改正	承認	○	○	×	○	○	○
第 46 号	専決処分について（秩父市国民健康保険税条例の一部を改正する条例） 東日本大震災に係る特例措置のための改正	承認	○	○	○	○	○	○
第 47 号	平成24年度秩父市一般会計補正予算（第1回） 市役所本庁舎等建設に係る補正、緊急雇用創出基金活用に係る補正等	原案可決	○	○	×	○	○	×
第 48 号	工事請負契約の締結について 秩父市立南小学校校体育館改築工事	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 49 号	秩父市監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○
議員提出 第 34 号	再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
議員提出 第 35 号	「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
議員提出 第 36 号	国民健康保険制度における国庫負担の増額を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
議員提出 第 37 号	「議会改革特別委員会委員」および「市役所本庁舎及び市民会館建替え調査特別委員会委員」の構成人数の変更に関する決議	原案可決	○	○	○	○	○	○
議員提出 第 38 号	建設業従事者アスベスト被害者の早期救済・解決を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
議員提出 第 39 号	管理型産業廃棄物最終処分場の汚水処理及びこの上流に湧き出ている汚水の処理を行うことを求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
議 第 13 号	消費増税に反対する意見書の提出を求める請願 【付託先：総務委員会】	不採択	×	×	○	×	○	○
議 第 14 号	建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める請願 【付託先：生活産業委員会】	採択	○	○	○	○	○	○
議 第 15 号	管理型産業廃棄物最終処分場の汚水処理およびこの上流に湧き出ている汚水の処理を行うよう埼玉県に意見書の提出を求める請願 【付託先：生活産業委員会】	採択	○	○	○	○	○	○
市民ク（市民クラブ 9名） 彩政会（彩政会 7名） 共産党（日本共産党秩父市議団 4名） 公明党（公明党 2名） 新風（新風 2名） 無会派（会派に属さない議員 1名） ※議長は会派人数に含まれていない。			○賛成 □賛否 ※賛成人数/会派人数 ×反対					

請願

6月定例会に提出された請願は3件です。総務委員会に1件、生活産業委員会に2件付託され、審査の結果、上記の表のとおり決定しました。

秩父市監査委員
荒船 功（大野原）

●人事案件
秩父市監査委員の選任について意見を求められ、市議会は次の方を適任と認め同意することに決定しました。



小櫃 市郎 議員



江田 治雄 議員

「埼玉県・全国議長会」表彰 10年以上

永年勤続表彰
去る4月24日開催の埼玉県市議会議長会および、5月23日開催の全国市議会議長会の各総会において、永年勤続表彰が行われ、当市議会は次の方が表彰されました。

意見書

6月定例会の最終日に、議員提出議案の意見書5件が提出され、審査の結果、全て原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。内容については、次のとおりです。

再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書

1 投資促進減税、省エネ・代替エネルギー減税などの拡充を実施し、再生可能エネルギーの導入を促進すること。

2 買取価格・期間の設定において、設定ルールを明確化し、長期的な将来の見通しを示し、制度の予見可能性を高めること。

3 再生可能エネルギー発電事業に係る規制改革を確実に実施するとともに進捗状況の管理のための独立機関等を設置すること。

「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書

1 道路や橋梁、上下水道、河川道、港湾など、老朽化が進み更新時期が近づいている社会インフラを早急に点検・特定し、

維持・更新のための公共投資を積極的かつ集中的に行うこと。

2 電気、ガス、水道、通信などのライフラインの共同溝化・無電柱化を促進し、都市の防災機能の向上を図ること。

3 地域の安全・安心のために、学校等の公共施設や病院・介護等の社会福祉施設など地域の防災拠点の耐震化及び防災機能の強化を推進すること。

国民健康保険制度における国庫負担の増額を求める意見書

国会及び政府に対し、国民健康保険財政基盤の拡充・強化を図り、国の責任と負担において国庫支出割合の引き上げを行うこと、とりわけ低所得者層に対する負担軽減策を拡充・強化するとともに、低所得者を多く抱える保険者への支援を強化することを強く求めるものである。

建設業従事アスベスト被害者の早期救済・解決を求める意見書

建設アスベスト被害者とその遺族が生活できる救済の実施とアスベスト被害の拡大を根絶する対策を直ちにとり、アスベスト問題を早期に解決するよう強く求めます。

管理型産業廃棄物最終処分場の汚水処理及びこの上流に湧き出ている汚水の処理を行うことを求める意見書

1 元埼玉三興(株)産廃処分場の汚水処理を早期に行うこと。

2 荒川に直接流れ出ている汚れた湧水をまとめて処理をして荒川に流すこと。

決議

6月定例会の最終日に、議員提出議案として、特別委員会の構成人数変更に関する決議が提出され、審査の結果、原案のとおり可決されました。

その結果、「議会改革特別委員会」に金崎昌之議員、「市役所本庁舎及び市民会館建替え調査特別委員会」に新井重一郎議員が選任されました。決議の内容と各特別委員会の委員については、次のとおりです。

「議会改革特別委員会委員」および「市役所本庁舎及び市民会館建替え調査特別委員会委員」の構成人数の変更に関する決議

平成22年5月21日に設置した「議会改革特別委員会委員」の構成人数および、平成22年12月15日に設置した「市役所本庁舎及び

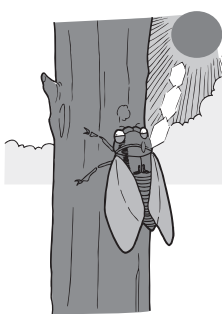
市民会館建替え調査特別委員会委員」の構成人数をそれぞれ、8人から9人とする。

「議会改革特別委員会」

- 委員長 浅海 忠
- 副委員長 新井 豪
- 委員 金崎 昌之
- 小林 富夫
- 上林 俊和
- 富田 俊和
- 小池 治
- 落合 芳樹
- 斎藤 捷栄
- 福井 貴代

「市役所本庁舎及び市民会館建替え調査特別委員会」

- 委員長 荒船 功
- 副委員長 新井 豪
- 委員 金崎 昌之
- 新井重一郎
- 富田 俊和
- 逸見 英昭
- 出浦 章恵
- 福井 貴代
- 浅海 忠



各常任委員会の報告

総務委員会

6月定例会で付託された議案4件・請願1件について報告する。

◆専決処分について

・市税条例の一部改正

・都市計画税条例の一部改正

○以上2件は挙手多数により承認

◆24年度一般会計補正予算(第1回)

旧セメント跡地進入路予備設計業務(980万円)は企業誘致

するための準備と考えて良いのか。

答 跡地を企業誘致のために活用した場合に想定しうる企業との交渉の際、迅速な対応ができるように、自治体として最低限行う社会インフラ整備を先行して行うためである。

本庁舎・市民会館建設工事設計業務の業者選定が大切であるが、

どの様な基準で選ぶのか。

答 業者選定する委員を8~10人で構成する。委員は学識経験者・国や県の建築の専門官・大学教授等、秩父市の意向を理解している方をお願いする予定である。

市民会館と本庁舎は合築の予定であるが、市民の窓口は面積的に1階に設置可能なのか。

答 基本設計で詳細を決める。市民や議会の意見が反映でききるよう進めていく。

駐車場スペースは市民が関心の高い問題である。現在の台数に

さらに150台増やし550台としているが、本当に大丈夫なのか。

答 市民会館跡地の利用や、場合により立体化や地下利用も視野に入れて計画する。またカード式やスタンプ式で管理運営をしていく。

「環境立市秩父」をうたっているが、太陽光発電やLED照明の導入の予定はしているか。建設費44億円の中でできるのか。

答 設計の段階でつめていくことになる。他市の施設についても当然若干の太陽光発電、LEDは入っている。仮に全部の部屋をLEDにする、初期コストは高くなるが、将来的なランニングコストは低くなる。環境問題も考え総合的に検討していく。

※補正予算に反対の意見として、本庁舎・市民会館の合築建設は、市民的合意を得たものではない。駐車場も限られたスペースで確保が難しい、見直しが必要であり、とても賛成できない、との意見が出された。

◆工事請負契約の締結について

(南小学校体育館改築工事)

○原案のとおり可決

◆消費税増税に反対する意見書の提出を求める請願

○挙手少数により不採択

建設委員会

6月定例会で付託された議案2件について報告する。

◆専決処分について(23年度一般会計補正予算(第5回))

吉田幹線1号線改築事業の繰越明許費分は、用地費なのか。

答 全て用地費であり、面積713.76㎡、筆数4筆、地目は畑、地権者2人、うち1人は相続で32人の持分となっている。

工事完了の時期はいつごろか。

答 用地買収を平成23、24年度で行い、24年度に伊古田方面から工事を開始し、26年度の完成を見込んでいる。

○承認

◆24年度一般会計補正予算(第1回)

24年度緊急雇用基金事業の道路管理データ作成業務委託事業では、緊急雇用として新規採用6人であるが、全労働者数8人、その差について。

答 委託先の業者が6人を新規雇用し、あとの2人は、委託先で専門的に指導する職員分である。

委託先業者は、入札か、随意契約か。

答 既に道路台帳補正業務を行っている会社と随意契約を行う予定。

雇用対象者は秩父市民の方が、雇用対象者の優先順位は、今回の震災で失業した方を優先し、

いない場合は、震災以外で失業された方でも良い。

随意契約業者は、地元業者か、市外の業者か。

答 本社は、東京。川越に関東支店がある業者。

市外の業者だが、雇用対象者は秩父市内の方を選んでいただけなのか。

答 震災で失業された方が最優先であるが、その対象者がいなかった場合は、発注する段階で市内在住者の雇用をお願いする。

○原案のとおり可決



吉田幹線1号線改築事業の現地調査の様子

各常任委員会の報告

生活産業委員会

6月定例会で付託された議案1件・請願2件について報告する。

◆24年度一般会計補正予算(第1回)

問 平成24年度緊急雇用基金事業の事業選定はどのように行ったか。

答 各課に問い合わせを行い、提出された事業すべてを県に応募し、結果として18事業となった。

問 この雇用の募集方法は。

答 公平性を考え、ハローワークを通じて募集をかける予定。

問 ハイキングコース景観維持緊急雇用創出基金活用事業予定地はどこか。

答 吉田地域の城峯山に既存のハイキングコースがあり、その表山道や南登山コースを中心に草刈、道路整備等を行う予定。

問 観光連携推進事業若手企業人地域交流プログラムで受け入れる若手企業人の経歴は。

答 2人のうち1人は西武鉄道、不動産関係の部に5年間勤務。他は近畿日本ツーリスト女性社員で7月1日より勤務予定。

問 本プログラム負担金1千2百万円について交付税措置の内容は。

答 地方財政措置の特別交付税の対象は上限が年間1人350万円、1人は7月1日からの出向なので、2人合わせた交付税対象額は612万円の予定。

○原案のとおり可決

〈請願〉

◆建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める請願

◆管理型産業廃棄物最終処分場の汚水処理およびこの上流に湧き出ている汚水の処理を行うよう埼玉県に意見書の提出を求める請願
○以上2件は採択



管理型産業廃棄物最終処分場(上影森)の現地調査の様子

文教福祉委員会

6月定例会で付託された議案2件について報告する。

◆専決処分について(国民健康保険条例の一部改正)

問 秩父市には、該当者がいないようだが、具体的な事例があれば聞きたい。

答 改正内容は、東日本大震災による被災居住用財産の敷地に係る譲渡期限の延長の特例である。仙台から秩父市に避難して来ている人はいるが、今回改正した部分について該当する人はいない。
○承認

◆24年度一般会計補正予算(第1回)

問 風の森保育園の増築を補助することに変更になった経緯は。

答 たんぽぽ保育園が今年度増築を行う事で予算計上していたので、今年1月に保育園に事業計画の提出を依頼していたが、2月の末に保育園から、予想よりも経費がかかり資金繰りがたたず、改築を断念するとの話があった。

一方、2月の始めに風の森保育園から、定員を増員するための改築を行いたいので補助金を頂けないかとの要望があったが、予算計上していないので、待っていた。

この様な状況により、秩父市で関連する事業が他であれば補助の

利用が可能であると県から回答があったので、たんぽぽ保育園への補助を風の森保育園への補助に切り替えて、その2つの費用を相殺して不用額を県に返すことにした。

問 風の森保育園の増築事業の負担割合は。

答 県の補助である「安心こども基金」を使用させてもらう。全体の費用額は約5934万円。補助対象額は約5496万円、そのうち保育園が4分の1、秩父市からの補助が12分の1、安心こども基金からの補助が3分の2となっている。

問 生ごみ処理機の設置工事の詳細は。

答 キヤノン電子㈱から、全小中学校用として、業務用の生ごみ処理機を23台頂いた。それを屋外に設置するために、雨水対策用の屋根の設置工事や、外電源の設置工事を行うものである。各学校を調査した結果、屋根工事が必要な学校は、小学校2校、中学校2校、外電源工事が必要な学校は、小学校10校、中学校5校である。

問 屋外に設置して壊されたりするなどの心配はないか。

答 鍵はかかるようになっていて、今まで、古いタイプの生ゴミ処理機が影森小学校に設置されていたが、特にそのような問題は起こらなかった。

○原案のとおり可決

特別委員会報告

市役所本庁舎及び市民会館建替え調査特別委員会

本委員会に付託されている市役所本庁舎及び市民会館等建替え調査、研究について報告する。

去る5月18日に委員会を開催し、次の事項を協議した。

まず、当局より市役所本庁舎及び市民会館建設基本構想、市役所本庁舎及び市民会館解体工事、アスベスト調査について報告を受けた。

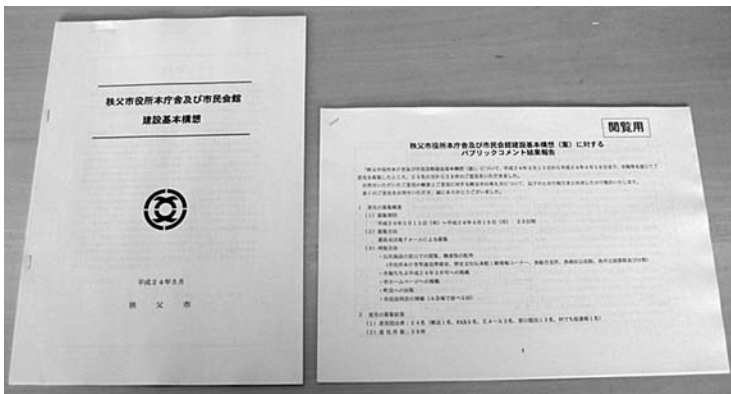
建設基本構想の策定にあたっては、市民を対象に行った、パブリックコメントおよび市民説明会の意見・要望が少なかつたが、策定にあたっては、総合政策会議および建設推進本部会議を、それぞれ2回開催し協議した。

次に、駐車場対策・解体工事は、5月下旬から、仮囲いの設置を行う予定。解体工事が始まると駐車場が大幅に制限されるが、管財課が所管している秩父公園駐車場に72台の増設を行う。イベント等で駐車場が足りない場合は、秩父公園内舗装道路部分50台を予定している。解体工事については、近隣住民に、説明・挨拶を行い、仮囲いが6月中下旬に完成後、埋蔵文化財の調査を実施する。

また、本庁舎駐車場の閉鎖、ATMの閉鎖については、市報6月

号で周知をすると説明を受けた。最後に、アスベスト調査の経過報告として、平成24年4月19日から5月11日までの期間で、(株)熊谷環境分析センターに調査を委託し、結果の発表は5月下旬を予定していると報告を受けた。

今後、本委員会としては、「建設基本構想」、アスベストの調査結果を見ながら、今後も継続して協議をしていく。



建設基本構想とパブリックコメント結果報告

議会の仕事、用語解説

【市議会】しぎかい

市議会は、市民の要望を聞き、予算や条例など市の意思を決めることから「議決機関」といい、市長は市議会で決めたことに基づきながら実際に事業を行うので「執行機関」といいます。市議会と市長は、独立した立場から協力し合い、市政を運営していきます。

【議会の仕事】ぎかいのついで

市議会の基本的な仕事は、「議決」です。市長や議員から提出された議案などを審議し、議会の意思を決めます。主に次のようなものがあります。

- ◆ 条例の制定、改正、廃止
- ◆ 予算の決定、決算の認定
- ◆ 予算価格1億5千万円以上の工事や製造の請負契約の締結
- ◆ 副市長、教育長、監査委員などの選任同意
- ◆ 国や県へ意見書の提出

【一般質問】いつぱんじつもん

一般質問は、議案に関係なく、行財政や市政全般について、市長をはじめとした執行機関に対して見解などを問うもので、定例会でのみ行われます。議案の審議と同じように、一般質問も重要な役割をもっており、市民の考えを市政に反映させるなど、市当局と自由

に討議ができる場でもあります。

円滑な議会運営および適切な答弁を得るため、事前に質問の趣旨を議長に通告すること（通告制）が決められているほか、市当局によるヒアリングを実施しています。

【通告制】つうこくせい

議会での発言は、すべて、議長の許可を得た後に行わなければならない。事前に、質問の趣旨を議長に提出する場合があります。それを通告制といいます。

一般質問については、定められた期間内に、議長に質問の趣旨を文書で通告することが、市議会会議規則で決められています。

議案に対する質疑については、その時々々の議会の状況によって、一部分（新年度予算や決算に対する質疑など）については、通告制を実施する場合があります。

通告制を実施することにより、議員の質問の内容や件数を、事前に把握できるため、議会のスムーズな進行にもつながっています。

【ヒアリング】ひありんぐ

一般質問の趣旨を正確に把握するため、市当局が、議員に、質問の趣旨を事前に確認することです。議会のスムーズな進行および、一般質問に対して適切な答弁を得ることを目的とし、秩父市議会では、ヒアリングを実施しています。

一般質問

危機管理について

新風 上林 富夫

問 小中学校の竜巻発生時など含む災害時避難訓練、突風などによる窓ガラスや校内物品などの飛散防護対策、また食料、飲料水などの各学校の備蓄状況をうかがう。

答 竜巻についての避難訓練は現在していないが本年度中に全ての学校の防災指導要綱を整備したい。また、物品対策は危険な物は鍵のかかった戸棚に管理しテレビ等はベルトで固定するなど安全確保に努めている。備蓄食料などは一中の防災倉庫に飲料水が3600リットル、乾パンが37000食、アルファ米7400食、各地域の防災倉庫に保管されている。

● 放置空き家対策について

問 3月議会質問後の状況、今後の予定についてお聞きする。

答 担当者などで日本初の空き家条例を制定した所沢市への視察研修や空き家対策の民間研修会などへの参加や全国初の行政代執行による空き家取り壊しを行った大仙市の事例、条例制定に対する法的問題の講義を受講するなど研究をしてきた。今後も空き家の増加が予想されることから条例が必



竜巻で崩壊した「つくば市」の家屋 (5月10日筆者撮影)



要であるとの意見で一致。警察、消防などと連携しながら来年3月議会上程を目指し研究中である。また副次的効果として空き家バンクへのアクセスも多くなっており地域経済活性化にも期待している。

● 市営住宅滞納対策について

問 住宅使用料滞納者の現状は。24年3月末で滞納者132世帯、滞納額3743万円である。引き続き滞納金額縮減に努める。

答 滞納者132世帯、滞納額3743万円である。引き続き滞納金額縮減に努める。

市役所本庁舎及び市民会館建て替えの内容と具体的スケジュール

新風 新井 重一郎

問 解体業者の選定は地元優先か。施設ごとに、一般競争入札方式による市内業者への発注とする。

答 学識経験者を有する大学教授、国、県の建設専門官及び関係職員からなる選定委員会が設計業者の創造性、実績、技術力を審査し一次で5社程度に絞り最終の二次審査では公開による技術提案とヒアリングを行い選定する。

問 「公開プロポーザル方式」による設計業者の選定とは。

答 学識経験を有する大学教授、国、県の建設専門官及び関係職員からなる選定委員会が設計業者の創造性、実績、技術力を審査し一次で5社程度に絞り最終の二次審査では公開による技術提案とヒアリングを行い選定する。

問 選定業者による基本設計、実施設計の内容は。

答 基本構想を踏まえ建築の規模、構造、配置等に加え電機、機械設備等、コスト比較を含めた基本となる計画の策定。次に基本設計に基づき、建設工事を行うための詳細な設計と積算が実施設計。

問 本体工事、外構工事の発注方法は。

答 経営規模、技術力を考慮し、入札方法・条件等を検討し、地域経済対策として地元事業者の活用を図れるようにする。

問 建築構造（鉄筋コンクリート、木造、混構造等）の決定は。

答 規模、強度、耐火性能、コス

トを比較検討し基本設計時に決定。木材利用は建設の基本理念としてできる限り生かす。



解体を待つ市役所本庁舎と市民会館

- ◎ 秩父市の農業人口推移
- ◎ 国の若手就農支援と離農奨励
- ◎ 企業農業参入と農業生産法人化
- ◎ 最近の企業誘致進捗状況
- ◎ 夏休み8月19日に、第6回目となる「理科おもしろ実験教室」の開催

一般質問

秩父市資源回収支援事業

市民クラブ 荒船 功

問 平成22年度成果報告書によると秩父市では、さわやかな生活環境づくりの政策に基づいて、育成会等の地域住民団体が回収した有価物の実績に応じて、キログラム当たり8円の報奨金、秩父市有価物回収組合には3円の助成金を交付、町会からの資源回収には1円の報奨金、ペットボトルには10円の報奨金が支払われており、廃品回収事業は育成会の大きな活動財源になっている。

ところが、今年度キログラム8円を1円引き下げて7円にすることである。値下げする理由は、**答** 報奨金単価を引き下げた理由は、キログラム当たり8円は県内他市と比較して高いことと、単価を引き下げても報奨金交付の目的及び趣旨にかなう事業は継続していきける見通しである。県内他市との比較では、朝霞市のキログラム10円について8円は2番目に高く報奨金を交付している22市平均額は5円となっている。

また、秩父市有価物回収業者への助成金単価についても、大幅に引き下げを実施している。

平成17年度はキログラム7円で

あったが、その後、段階的に引き下げを実施して、現在は1円になっている。



廃品回収の様子

- ◎エコタウン計画の実施に向けて
- ◎マスタープランの作成
- ◎企業誘致

市役所本庁舎建設について

市民クラブ 江田 治雄

問 基本構想の中で、駐車スペース550台は確保できるか。

答 現在の駐車台数400台から、550台を計画している。本庁舎の周りに3か所の駐車場も有効利用できるように見直す。立体化や地下利用も検討しているが、費用がかかるので、慎重に検討を重ねたい。さらに駐車場の管理システムも検討する必要がある。例えばスタンプ方式や時間管理方式で、市民が本庁舎等に来庁の場合、市民が本庁舎等に有料とし管理費を捻出する。駐車場は大きな問題である。市民の皆さんが安心して利用できるように設計する。

問 環境立市「ちちぶ」を宣言しているが、環境に優しく先進的な建物になるのか。

答 基本的な設計は、LED照明も入ってくると思う。太陽光発電等も積極的に導入したいが建設費44億円の中で可能かどうか、費用対効果や完成後のランニングコストも充分検討する必要がある。市民を守る安心で、自然環境にやさしい施設となるよう設計したい。

●水道事業について

問 大滝大血川・荒川谷津川簡易水道は連結できないか。

答 緊急的な目的(火災等の有事)での連結は可能である。今後水道事業を統合することで準備しており、将来ビジョンの中で検討している。



現在の駐車場の風景

- ◎シルバー人材センターの現状
- ◎有効的な会議のあり方について

一般質問

「基礎学力」について

市民クラブ 竹内勝利

問 「人間力」と「基礎学力」を養う教育の実現について。

答 基礎学力の向上については学力調査の結果等を活用して、家庭学習時間や読書時間の目標設定、小中学校の学力向上に取り組んでいる。教師志望の高校生が中心となって、小学生を教えるチャレンジスクールを夏休み3日間、さらに教師を目指す大学生によるボランティアが中学生に教えるフォローアップスクールを冬休みに3日間行っている。

●「図書館」について

問 新しい本庁舎に図書館を併設できないか。

答 新たに、図書館機能を加えるとなると、必要な機能を削減しなくてはならなくなり、現実的には難しい。しかし、例えば新しい本庁舎の施工に併せて、歴史文化伝承館の交流フロア等を元に戻した上で「図書館コーナー」を設置し、一部の閲覧用図書を配備したり、図書検索のインターネット端末や返却用ブックポストを設置することは十分に考えられる。

◎本庁舎・市民会館について



ヤソトン市との姉妹都市交流事業

●「ヤソトン交流」について

問 ヤソトン市との姉妹都市交流の今後の展開について。

答 今後も秩父ヤソトン会が中心となって交流を進めていただくが、両市の発展につながる交流には協力をやりたい。更なる親善交流を深めるべく、国や県に支援を求め、事柄については協力を要請し、国際交流の推進に努めていきたい。

市民生活の安心・安全をめざして

日本共産党秩父市議団 斎藤捷栄

●肺炎球菌予防ワクチン接種補助制度改善について

問 肺炎で亡くなる人は多く、原因別の死者数は依然第4位だ。秩父市のワクチン接種率は郡内4町平均に比べて低い、また65歳以上84歳以下の人の死亡率は逆に高く、ハイリスクを抱えている。現在の補助制度では75歳以上となっている年齢の引き下げ、生涯1回という制度改善は図れないか。

答 高齢者の命と健康を守るために、医師会との協議を図るとともに、財源確保を考慮しながら、前向きに検討していく。

●3月定例会で採択された 「食品放射線測定器の設置について」の協定処理について

問 食品放射線測定器の設置についてどのような協議をしてきたか。

答 教育委員会、市長室、財務部で、3回の協議をしてきた。

問 給食の放射線測定はどのようなになっているか。また今後の予定は。

答 1キログラム当たり10ベクレルまで検出できる機器で、週1回、検査しているが、現在ますます不検出となっている。今後は、回



食品放射能測定機の1例

数は週2回、品目は3品目に増やして検査したいと考えている。

問 依頼検査ではなく自前の機器で細かい測定が望まれる。また放射線問題については全庁横断的な組織（会議）を構築して検討することが必要だ、現状と対策は。

答 総務部、財務部、市民部、産業観光部、環境部、教育委員会など関係部所を網羅した組織を早急に立ち上げ、測定機器の購入を含め対策を検討していく。

一般質問

市民ニーズに応える聖地公園

公明党 福井 貴代

問 少子化・核家族化が進む現代にあつて、お墓を継承させるのが難しい方々の要望に対応し、納骨堂や合葬墓の整備が必要と考えるが、今後の整備計画は。

答 本年6月1日現在14369か所の墓所を永代使用として貸し出し、約3万4千人の方々が埋葬されている。時代の経過に伴う社会状況の急激な変化に対応し、納骨堂や合葬墓について早急に検討していくことは、重要な課題。墓所の貸し出しがほぼ完了していることから、新規整備も検討している。その時には研究成果を十分に活かしていきたい。

●学校施設の非構造部材の耐震対策

問 全国の学校施設の非構造部材の耐震化率はたった29.7%。秩父市における非構造部材（天井や照明器具等）の耐震対策は。

答 学校施設の耐震化工事の中で非構造部材についても耐震化を進めている。専門家による点検については早期に対応したい。



新規整備が待たれる聖地公園

◎自治体職員の人財開発について

●学校図書館の充実

問 学校司書の配置、図書整備、新聞配備に国の予算がついている。更なる充実のため活用を。また書棚が不足しているとの声に対応を。

答 秩父市学校図書館運営改善モデル校として高篠小学校と尾田中学校で司書教諭の支援を行う学枝補助員を配置。モデル校の成果を検証し他校にも計画的に進める。図書の質の向上に努め、不足書棚について順次設置していく。

秩父市の防災・減災対策について

公明党 大久保 進

問 防災訓練の内容を学校と連携して訓練を考えているか。

答 防災訓練は日曜日に実施するために、町会と学校の調整が必要となるため、難しい面もあるが、今後も、より充実した内容で多くの皆様が参加できるように努めていく。

問 防災ハンドブックの見直しは考えているか。

答 埼玉県の地震被害想定についても、本年度から見直しを実施し平成25年度中には完了するとのこと。秩父市防災計画を含め、内容の大幅な見直しが必要になり、これに合わせ見直しが必要と考えている。

問 通学路の安全対策でカラー舗装等の標示ができないか。

答 歩道の整備が難しい路線については、カラー舗装やグリーンベルト等の標示を継続しているところであり、今後も通学路の安全対策を強化しカラー舗装等の標示を重点的に設置したいと考えている。

問 スクールガードの人数が足りない。シルバー人材センターへの依頼はできるか。

答 現在1日あたり約70の方が

下校時の見守り活動を行っている。シルバー人材センターの活用には予算が伴うことから、スクールガードの人数を増やすことが可能か検討していく。



今後活用が期待される防災ハンドブック

一般質問

秩父伝統芸能継承について

彩政会 小池 治

問 5月19日、20日の2日間にわたり、伝統芸能の発表会「平成秩父座」が道の駅隣で公演された。

答 これは秩父歌舞伎正和会が中心となり企画及び実行をし、ほかの伝統芸能保存会から10あまりの団体が出演協力して行なわれたものであるが当局はどう評価したか。

答 秩父の伝統芸能の種類の豊富さや奥深さ、素晴らしさを感じ取っていたのだと思うし、「B級グルメ旨いもの祭り」も併せて開催されたのが良かった。

問 実行委員会による柔軟な発想と自主的で精力的な取り組みは、伝統芸能を継承する方々の情熱や力強さを感じることができ、有意義な公演であったと考える。

答 担当課の認識について。民族芸能・伝統芸能の公開のあり方について、今後ひとつ一定の方向性を示しているのではないかと認識が示された。

問 伝統芸能と観光の連携とその組織づくりについてはどうか。

答 国は伝統文化を観光や地域振興に役立てようと、平成22年度から事業を行っているし、秩父市でもこれを受けて後継者育成にも取

り組んでおり、伝統文化、芸能と観光、この辺を結ぶ横断的な組織で対応していく。

近い将来的には秩父地域の連携の核として法人格を持たせて、おもてなし観光公社でしっかりと事業を行っていく。



平成秩父座

◎学童クラブの窮状と今後の方針
◎秩父市文化財保護方針について

小中学校の登下校安全管理について

彩政会 高野 宏

問 登下校中の児童や保護者の痛ましい交通事故が多発しているが教育委員会の対策は、また、自然災害時の学校の対応は。

答 国の作成した「通学路における緊急合点検等実施要項」に沿って通学路等の危険箇所の調査、点検を行っている。

自然災害時等の対応についても、学校ごとの判断で、保護者と連絡を取って、十分安全に配慮して、進めていく。

●秩父祭り屋台国指定50周年記念事業について

問 この事業に対する市の取組について。

答 50周年記念事業の一環として10月6・7・8日に中近および下郷笠鉦の組立・曳行・解体の特別公開を、本来の3層の花笠を付けた状態で行う。この事業については、市長より全庁的に取り組んで行うように指示があり、プロジェクトチームの立ち上げに向けて準備を進めており、観光面の宣伝や交通対策など、本事業が成功するよう全力で取り組むたいと考えている。また、産業観光部の協力を

得て、商工会議所や商店連盟連合会と連携し、イベントなどの企画を検討していきたいと考えている。



元気に登校

◎小中学校ホームページについて
◎学校と地域の交流について
◎観光客の街中誘致について
◎町会・自治会の役割、運営
◎孤独死防止等の対策

一般質問

将来を担う子どもに投資を

日本共産党秩父市議団 出浦章恵

●子育て・保育について

問 公立の保育士の臨時・パートの増員問題についての見解は。

答 平成24年度5月1日現在、臨時職員の合計が19人、パートタイマーの合計が79人。職員間の連携や子どもに関する情報共有についての指摘は常に密に連携をとり、情報を共有できる職場の体制作りを努めている。

問 秩父市では夜間保育の需要は。

答 現在、市に直接要望は無い状況であり、需要は高くないものと思われるが、就労形態の多様化が進んだ場合、需要は高まるものと認識している。

●学童保育について

問 現在の市の利用状況は、児童30人から40人の施設はどこか。

答 公立では、宮地学童、南学童、荒川学童。民営の3施設。

問 市は児童40人まで指導員3人という考え方。県の基準は、おおむね10人に1人となっている。児童40人であれば、指導員は4人配置すべきである。これで安全な保育ができると考えているのか。

答 県の運営基準において、児童

数20人以上は3人以上の配置。当市は40人から50人の定員の学童保育室がほとんど。基本的に常時3人以上が常駐するよう嘱託の指導員4人、パート職員の補助指導員2人の臨時職員を雇用してシフトを組んでいる。安全のため必要に応じ増員等も検討する。



おいしいごはんをいっぱい食べて元気な子どもたち

◎ちびっ子広場交差点の安全対策

市役所・市民会館の合築について

日本共産党秩父市議団 新井康一

●市民会館ホールは利用しやすい機能

問 市民会館ホールは利用しやすい機能を考えて面積は現在の市民会館以上の広さが必要である。市役所はバリアフリーなども考慮しなければならぬが、1階に配置する部所、そこで働く職員数、そのために必要な面積などは基本構想の中で検討されているのか。

答 ホールや関連施設、市役所1階の窓口部門の配置等は設計者のノウハウを生かすためにも設計者に提案を求めたい。

問 前回は駐車場不足を指摘したが、具体案が示されない。駐車場不足は結果として施設の稼働率が上がらない原因となる。

答 運用の見直し等で常時駐車できる台数を確保したい。

●ワナ特区による獣害対策

問 狩猟免許がなくても講習を受けられることでワナにより害獣が捕獲できるワナ特区が今年から全国展開されるといいますが、当市においても獣害対策は深刻な問題であり、取り入れてはどうか。

答 県は第11次埼玉県鳥獣保護計画に「農林業被害防止の目的であれば狩猟免許を受けていない者に

●林業の活性化について

問 秩父産材の活用と言えば間こえは良いが、山林地主が木材を売っても搬出費用で赤字になってしまう。この問題を解決しなければ林業は活性化しない。

答 利用をすすめる需要が高まることで活性化につながると考える。



解体準備が始まった市役所・市民会館

一般質問

街づくり構想について

彩政会 松澤 一雄

問 基本構想における道路網の整備は、「魅力を高める地域基盤づくり」として、幹線道路、生活道路の整備がうたわれているが、現在の取り組み状況について。

答 幹線道路、生活道の整備は、総合振興計画に基づき、地域再生計画を策定し、実施しており、現在5路線の整備を進めている。

問 国道140号と県道秩父荒川線を結ぶ道路の間隔が長い。中央1号線を国道140号まで延長、改良し、迂回距離を減らし、道路網整備を図ることについて。

答 中央1号線は、通勤、通学路として通行量が非常に多く、歩道の整備を含め、改良の必要性を考えている。国道140号までの延伸は鉄道の関係もあるが、市全体の道路整備計画のうちで調査、検討する。

●市営馬場の現状と活用方法について

問 市営馬場の利用を更に高めるため、以前に計画をした久那地域に移設し、馬術競技練習場等施設の充実を図るとともに子供たちと馬との触れ合い、野外乗馬、各種

イベント等の開催による多方面への活用方法について。

答 現在、会員やスポーツ少年団の競技練習のほか市民向けの乗馬教室を開催し、馬術競技の振興に努めている。乗馬は、全身の筋肉を鍛え、ホースセラピーによる心身を癒す効果のあるスポーツであり、市民の健康増進、また観光振興にも繋がることから、乗馬連盟とも協議の上、具体的に検討する。



来訪者を待つ市営馬場



秩父市の福祉と健康・地域が抱える問題

日本共産党秩父市議団 山中 進

問 介護保険について。

答 介護保険が改定され2カ月が経過した。利用者、事業所からの聞き取り調査では、改定前と比較するとサービスを受けた場合自己負担が増えている。事業所としては市としてのローカルルールをのぞんでいる。今後どのような考えがあるか。

答 市として改正による影響を把握し利用者、事業所など、実態調査し介護サービスが提供されるよう努める。

●大滝地域の現状について

問 養護教諭の配置について。

答 養護教諭が大滝小学校と中学校を掛け持ちして対応している。児童・生徒の、心身の健康管理、緊急時などの対応は。

問 市費で養護教諭を配置している。診療所や保健師と連携し対応したい。引き続き市費で配置する。

答 市道17号線中津川林道の現状と将来について。

問 落石や土砂崩落で現在通行止めになっている対策は。

答 県道への昇格要望、未改良部の法面対策や簡易舗装など、財源

を確保し整備を進めていきたい。

●放射能汚染から市民の健康を守る取り組みについて

問 高い放射線量の除染・農産物の測定について市の指針、広報は。

答 放射線測定の希望があれば、市で訪問し測定する。県、J A、生産者と連携し、農産物の放射性物質調査を行っている。国の基準値を下回る数値となっている。市民の目線に立った広報をしていく。



市道17号線（旧中津川林道）通行止の看板

一般質問

市庁舎等建設事業は市民参加で

金崎昌之

問 パブリックコメントに寄せられた全38件の意見の内、構想案に何らかの形で異を唱えるものが13件ののぼるなど、市民的な合意が図られているとは言えない。

答 ここは一旦仕切り直し、十分な説明を尽くすとともに、ていねいに市民の声の把握に努め、その上で一度は住民投票やアンケートなどで広く市民の意思を確認する必要があると考えるが。

問 庁舎の建設問題は、秩父市の将来に責任を持つ立場から市当局と議会が結論を出すべきで、住民投票もアンケートも必要ない。

●秩父市花観光の現状と今後
問 秩父市の花観光のメインである芝桜の入り込み客数の推移を見ると、2007年の102万人をピークに頭打ち傾向にあると言える。加えて、芝桜期間の交通渋滞も課題となっている中、鉄道・バスなどの公共交通機関を活用した分散型の花観光が必要では。

答 鉄道やバス会社と協議・連携して、地域の活性化に寄与できるように研究したい。

●安全・安心の市民生活と現業職員の確保

問 加速度的に進む秩父地域の高齢化により、道路・排水路等の安全管理が重要性を増す中、現業職員の欠員補充がされないため、道路や排水路の補修や災害時対応などに迅速な対応ができなくなっている。市民生活の安全・安心を確保するためには、現業職員の欠員補充が求められる。

答 現業職員の採用は非常に厳しい状況。



取り壊しを控えた本庁舎・市民会館

市の将来展望と企業誘致

彩政会 金田安生

問 将来の秩父市の人口規模をどの程度の大きさに維持したいと考えているのか。人口規模によって誘致の規模や予算、職員数、設備等も大分変わってくると思うが。

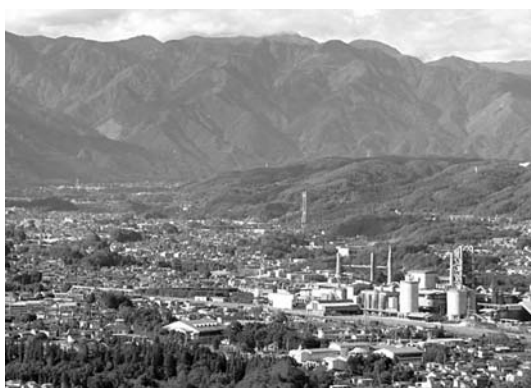
答 目標は「日本一幸せな街秩父市」を目指してがんばっている。秩父の特徴を活かしながら、まずは企業誘致や育成によって人口減を止めなければならぬ。数字での規模は考えていないが、賑やかな活気に満ちた町づくりを考えている。

●児童・生徒数激減による学校の統廃合

問 平成の初年に比べ24年経った最近と比較し生徒数はどのように変化しているのか。生徒の集合教育を行うのに、今の学校維持体制では問題があるのでは。

答 生徒数が激減し1学年1学級を維持できない学校もある。秩父全域的には平成元年に小中校併せて9千2百人いた生徒が平成24年には5千3百人と42%減少した。少人数になると集合教育の運動面の授業に問題が多いなど弊害はある。ただし単純に生徒数減だけで

学校の統廃合を論じる訳にはいかない。学校が地域文化の核になっている場合が多い。対象となる地域の色々な関係者から話しを聞き、地域の合意の上で将来に向け統廃合の形を作っていく。学校の建物は地域の防災拠点としての機能もあり転用についても、そのことを十分に考慮の上、慎重に判断したい。



現在の秩父市内

◎9月に実施される防災訓練について

議会報告会を開催しました

秩父市議会で初めて開催した「議会報告会」に参加していただきまして、誠にありがとうございました。市民の皆様からいただいたご意見やご提言は、議会審議等に反映させるよう努力してまいります。

また、報告会当日はアンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

アンケートの集計結果は、以下のとおりです。

なお、各会場における実施報告書につきましては、秩父市議会のホームページから閲覧していただくか、議会事務局までお問い合わせください。



歴史文化伝承館の様子



吉田やまなみ会館の様子



荒川農村環境改善センターの様子

「2012 議会報告会」アンケート集計結果

平成24年5月20日開催

アンケート項目		回答	割合
性別	男	58人	92%
	女	5人	8%
議会報告会の内容に関して	議会報告会の開催については？	よかった	45人 71%
		どちらとも言えない	15人 24%
		分かりにくかった	3人 5%
	説明の内容について	よかった	18人 29%
		どちらとも言えない	29人 48%
		分かりにくかった	14人 23%
	説明時間について	ちょうどよかった	44人 75%
		短かった	9人 15%
		長かった	6人 10%
現在の市議会について	議会の役割について	果たしている	35人 58%
		どちらとも言えない	24人 39%
		果たしていない	2人 3%
	開かれた議会について	開かれている	29人 50%
		どちらとも言えない	27人 47%
		開かれていない	2人 3%
	議会への期待について	期待している	56人 90%
		どちらとも言えない	4人 7%
		期待していない	2人 3%

●市議会を傍聴してみませんか●

9月定例会の予定

各日、午前10時開会予定

日 程	議 事
9月4日(火)	開会、議案説明
10日(月)	議案に対する質疑
11日(火)、12日(水)、13日(木)	一般質問
14日(金)	委員会
20日(木)	委員長報告、採決、閉会

- ※ 議場は、吉田総合支所の3階です。
- ※ 日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合もありますので、傍聴の際は、議会事務局へお問い合わせください。
- ※ 委員会の傍聴は、事前に許可が必要です。

請願・陳情はこんな方法で……

請願を市議会へ提出する場合は、次の様式で作成し、議会事務局へ提出して下さい。

- ①請願・陳情の件名
(「〇〇に関する請願」または「〇〇に関する陳情」)
- ②要旨・理由
(内容は簡単明瞭に)
- ③請願・陳情者の住所、氏名及び押印(多人数で請願・陳情する場合は、必ず代表者を決めてください。)
- ④請願は1人以上の議員の紹介が必要です。紹介議員の署名又は記名押印を受けてください。陳情も様式は請願と同じですが、紹介議員は必要ありません。
- ⑤請願・陳情の提出はいつでも受け付けますが、当該定例市議会にかかるものは、事務処理の都合上、定例市議会の招集初日の正午までに提出をお願いします。
- ⑥請願・陳情の様式は、A4判縦、横書きをお願いします。
- ⑦詳しくは議会事務局へお問い合わせください。
(右記は請願書様式です。)

〇〇に関する請願者名簿

住 所	氏 名	印

請願者が多人数の場合

〇〇に関する請願

趣旨
〇〇〇〇…
説明
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇…
上請願します。

平成〇年〇月〇日
請願者(代表者) 住所
氏 名 印

秩父市議会
議長 〇〇〇〇様

請 願 書

紹介議員
氏 名 印
(署名または記名押印)

議会インターネット

録画中継

平成23年6月定例会から、インターネットによる議会の録画中継を開始しました。

本会議の初日(議案説明等)、議案に対する質疑、一般質問、本会議の最終日(採決等)の映像を、秩父市のホームページから見る事ができます。または、「秩父市議会インターネット中継」と検索して、ぜひご覧ください。

ありがとうございました。

定例会本会議開催日に、議長席脇机に5種類の盆栽を置きました。提供していただいたのは、日本盆栽協会秩父支部の5人の方で、中村町の新井清さん、上宮地町の関根茂男さん、久那の石渡達之さん、中村町の岩田亨男さん、大野原の堀口正一さんです。ありがとうございました。



岩田亨男さん提供



新井清さん提供



石渡達之さん提供



堀口正一さん提供



関根茂男さん提供

6月定例会に提供していただいた盆栽

編集後記

6月定例会では、常任委員会等の委員の再編が行われました。新たな委員長の下、委員会が開催され緊張感のある中、各委員会で担当する議案の審査が行われました。

議会だより編集委員会も再編され、昨年と同様熱い思いを持ったメンバーで構成されました。今年度は、今までの議会だより編集委員会の流れを継続し、新たなチャレンジを試みます。市民の皆様に関心を持って頂くため、見やすく分りやすい、身近な市議会だよりを作っていくしたいと思います。今後とも、議会への理解を深めて頂く一つの情報源として議会だよりを編集していきたいと思えます。議会だよりに対してのご意見、ご要望等がありましたら編集委員までお願いいたします。

平成24年6月 木村 隆彦 記

編集委員

委員長
副委員長
委員

木村 隆彦
大村 保彦
金崎 昌之
上林 富夫
新井 豪進
山中 進彦